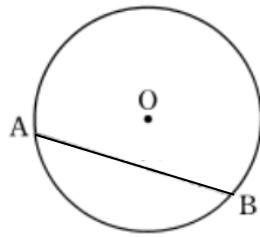
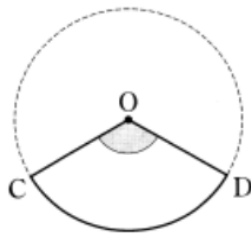


平面図形 確認テスト(7)

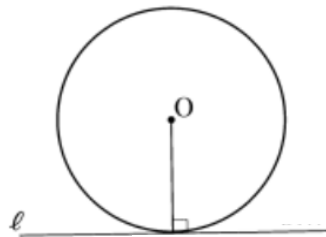
- (1) 円周上に2点 A, B をとるとき、円周の A から B までの部分を、(弧AB)といい、(\widehat{AB})と書く。
円周上の2点 A, B を結ぶ線分を(弦AB)という。



- (2) 2つの半径と弧で囲まれた図形を(おうぎ形)という。
また、その2つの半径でつくる角を(中心角)という。



- (3) 円と直線が1点で交わるとき、直線は円に(接する)という。
下の図のように、直線 ℓ が円 O に接しているとき、直線 ℓ を円の(接線)、点 A を(接点)という。
円の接線は、接点を通る半径に(垂直)である。



- (4) 半径 r の円の周の長さを ℓ , 面積を S とするとき、周の長さとな積を文字式で表せ。

周の長さ $\ell = 2\pi r$

面積 $S = \pi r^2$

- (5) 半径 r , 中心角 a° のおうぎ形の弧の長さを ℓ , 面積を S とするとき、弧の長さとな積を文字式で表せ。

弧の長さ $\ell = 2\pi r \times \frac{a}{360}$

面積 $S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$